

令和 4年度

事務事業評価表 ( 令和 3年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 4 年 4 月 4 日

事務事業名		子育て世帯臨時特別給付金支給事業					事業区分		担当	
							新規/継続	新規	事務事業No.	010103001086
							単独/補助	補助		040201
政策体系		政策体系上の位置付け							所属課	児童福祉課
総合計画の施策名		0101 子育て支援及び少子化対策の推進							課長名	
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり							グループ	子育て支援G
施策名		01 子育て支援及び少子化対策の推進							担当者名	
手段名		03 ③経済面での子育て支援								
		財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	03	02	07	01	00	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業			
法令根拠							単年度のみ		( 令和 3 年度)	
									期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入	

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>新型コロナウイルス感染症が長期化しその影響が様々な人々に及ぶ中、我が国の子どもを力強く支援し、その未来を拓く観点から、子育て世帯を支援する取組の一つとして、臨時・特別の一時金を支給する。</p> <p>【対象者・金額】 平成15年4月1日以降に生まれた児童を養育する保護者で児童手当 (本則給付) の支給対象となる金額と同等未満の保護者に対し、児童1人あたり100,000円支給する</p>	<p>システム改修業者との打ち合わせ (システム仕様確認、通知文等の検討など)、対象者の抽出、プッシュ支給者への支給決定通知・変更通知・支給、申請対象者 (公務員・高校生等を養育する保護者) への申請書送付・申請受付・審査・支給を実施。令和3年10月以降に出生した新生児を養育する保護者へは出生を確認後、個別通知実施。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
システム改修業者との打合せ、対象者の抽出、プッシュ支給者への支給決定通知・変更通知・支給、申請対象者 (公務員・高校生等を養育する保護者) への申請書送付・申請受付・審査・支給を実施。	支給件数 (プッシュ支給)	件	0.00	2,094.00	0.00	0.00	0.00
	支給件数 (申請対象者)	件	0.00	801.00	30.00	0.00	0.00
	支給回数	回	0.00	5.00	4.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
H15.4.1以降に生まれた児童を養育する保護者で児童手当 (本則給付) の支給対象となる金額と同等未満の保護者	支給対象児童数	人	0.00	5,138.00	14.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
新型コロナウイルス感染症が長期化しその影響が様々な人々に及ぶ中、子ども達を力強く支援し、その未来を拓く観点から子育て世帯を支援する。			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定総投入量
			県支出金	千円	0	0	0			
			地方債	千円	0	0	0			
			使用料・手数料	千円	0	0	0			
			その他	千円	0	0	0			
			一般財源	千円	0	516,910	307			
			事業費計 (A)	千円	0	516,910	307			
			正規職員従事人数	人	0.00人	5.00人	5.00人			

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)				04年度事業費 予算 (千円)			
	03 職員手当等	252			11 役員費	7		
	10 需用費	74			18 負担金補助及び交付金	300		
	11 役員費	641						
	12 委託料	865						
	18 負担金補助及び交付金	513,800						
	22 償還金利子及び割引料	1,278						
			合 計	516,910		合 計	307	

事務事業名	子育て世帯臨時特別給付金支給事業	事務事業No.	10103001086	所属課	児童福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
令和3年11月19日に閣議決定された「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」において、0歳から高校3年生までの子供たちに、児童1人あたり5万円の現金、5万円分のクーポンを支給すると決定され、後に一括10万円支給も認められた。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
クーポンではなくて現金支給でよかったとの感想をいただいた。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 国の事業であり、子育て世帯への経済的支援になっていると言える。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 国の事業であり、全額国庫負担である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 国の事業であるため。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 国の事業であるため。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 国の事業であるため、統廃合は出来ない。
公平性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 国の事業のため。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 国の事業のため、検討の余地なし。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国の指針通り、年内プッシュ支給も実施し、特に大きなトラブルなく支給することができた。																			
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性																					
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加										
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> C A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>